

科目名	化学基礎実験	英語科目名	Basic Experiments of Chemistry
開講年度・学期	平成 28 年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科 1 年
授業形態	実験	必修 or 選択	必修
単位数	3 単位	単位種類	履修単位
担当教員	飯島道弘・武成祥 酒井洋・西井圭	居室（もしくは所属）	電気・物質棟 3,4 階 専攻科棟 5 階
電話	809(武), 812(飯島), 807(酒井), 806 (西井)	E-mail	wuc@, iijima@, sakai@ , nishii@小山高専 ドメイン名
授業の到達目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 実験の基本操作を習得すること（ピペット、加熱、溶液を移す、秤量、振とうの 5 操作）。	②		
2. 実験の安全に配慮する習慣を身につけること。	②		
3. 実験観察、記録、考察する習慣を身につけること。	②		
4. 期限までにレポートを提出する習慣を身に付け、実験をまとめ発表すること。	②		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1, 2 : 実験実施状況で評価し、60%以上の成績で達成とする。 達成目標 3, 4 : レポートにより評価し、60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
実施 40%（発表成績を含む）、レポート 60%			
授業内容			
実験テーマ			
1. ガイダンス, 2. 元素と化合物, 3. 酸素の捕集と密度測定, 4. 固体の溶解度, 5. 中和熱の測定 6. 同族元素の性質, 7. 過酸化水素の分解反応, 8. 化学平衡 9. 酸・塩基の中和反応 10. 金属のイオン化傾向 11. 硝酸 12. マグネシウム、カルシウム、バリウムの化合物 13. アルミニウムとその化合物 14. 鉄イオンの性質 15. 銅イオンの性質 16. 分子モデル/金属イオンの性質 17. 金属イオンの性質 18. アセチレン 19. メタノールの酸化 20. エステル 21. ニトロベンゼン、フェノールフタレインの合成 22. アニリン 23. セッケンの製造 24. 糖とデンプンの性質 25. 分子モデル 26. タンパク質溶液の性質/分子モデル			
発表準備			
実験結果発表会			
キーワード	化学、実験		
教科書	化学実験ノート(大日本図書)		
参考書	化学 他 関連専門科目教科書・参考書		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	なし		
現学年の関連科目	化学 I,II、物質工学入門 I		
次年度以降の関連科目	殆んど全ての専門科目		
連絡事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの提出期限は、基本的に実験終了日の翌週の朝までとする。</li> <li>・遅れたレポートに関しては、減点の対象とし、1 週間以上遅れたものに関しては一切受け取らない。</li> </ul>			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 22 日		

\*シラバスは修正される場合があります。